

田中家通信

全優店
全国優良石材店



株式会社 田中家石材

VOL. 19
発行／株式会社 田中家石材
住所／彦根市高宮町108-1
電話／0749(065)588888
HP●http://www.tanakaya-sekizai.com/
Mail●info@tanakaya-sekizai.com

八幡神社

八幡神社は、神道の神の代表格。鎌倉の鶴岡八幡宮や、京都の石清水八幡宮が有名だが、それ以外にも全国各地に「八幡神社」があり、その数、なんと約一万四八〇〇社。稲荷神社に次いで、日本ナンバー2です。そもそも、八幡神社はどんな神様なのでしょうか。応神天皇をまつり、神社としての格は上位で、弓矢・武道の神様なのです。

なお、全国の八幡神社のトップに立つのは、鎌倉でも京都でもなく、大分県宇佐にある宇佐八幡宮です。この八幡神社が武道の神様になったのは、後三年の役（一〇八三〜八七）の年、源義家が、京都の石清水八幡宮の前で元服し、「八幡太郎」と名乗ったのがきっかけとされています。このことから、八幡神社は源氏の守り神となり、武道の神様となりました。その後、とくに東国の武士の信仰を集め、源氏の隆盛とともに全国に広まっていきました。

敬 須 新 禧



お正月です。お仏壇とお墓に手をあわせましょう。

お正月というと、新しい年を祝うお祭りのようにも思われますが、本来はお盆と同じように、ご先祖様をお迎えし、ご供養する宗教的な意味合いが含まれています。お正月にもご先祖様を迎えてともに一年の幸せを願いましょう。

初詣、門松、しめ飾りなど昔から慣れ親しんだお正月の風物詩にもそういった意味が込められているのです。だれもが最も日本人らしさを感じることができなのがお正月だといえます。まずは家族そろって氏神さま・菩提寺にお参りしましょう。神様・仏様やご先祖様はいつも変わらぬ清らかな姿で迎えて下さいます。

挨拶

「挨拶」の本来の意味は「そばに身をすりよせて押しあうこと」。まず相手の心の玄関を押してみなくては、ふれあいは生まれません。

なぜ、参拝するときに「鈴」を鳴らすのか

神社では、拝殿の前、賽銭箱の真上あたりに、大きな鈴がつるされています。この鈴は神様の注意を引き、悪霊を払うために鳴らすもので、もともと鈴は、楽器のひとつとして、世界的に用いられてきました。

また、平安時代に、中国の道教系の怪奇譚が知られるようになると、暑い夏の夜には怨霊が家の中に入ってくると恐れられました。そこで、軒先に風鈴をつって追い払う習慣ができました。

鈴は神事にも欠かせない楽器となり、神楽舞のときに、巫女が手に持つてシャンシャンと鳴らす「神楽鈴」がそのひとつです。神楽鈴は、小型の鈴が山形にならんでいます。これは、稲穂をかたどっているからだといえます。その形は「鈴なり」という言葉の語源でもあります。ちなみに、拝殿の前で鈴を鳴らすときは、ガラガラと大きな音はたてないほうがいいです。鈴は静かに鳴らすのが、神様への礼儀です。

禪のことば

◆先 心せんしん

心の汚れを放っておかないで。ふだんは顔や手足の汚れについては神経質なほど気にするのに、心の汚れについてはどれだけ気をつけているのでしょうか？心の垢は大人になるほどたまっていきます。無頓着に放っておけばおくほど、汚れは落ちにくくなります。「先心」は正月にもふさわしいことばです。正月はもともと再生や修正を意味する月であり、元日の朝、暗いうちに井戸水や湧き水をくみにいく「若水とり」の風習は再生の象徴でもあるわけです。せめて年に一度、心もしっかりと洗い直したいものです。

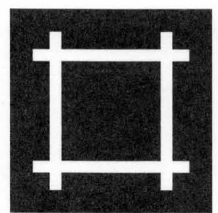
◆名利共に休す（みよりともにきゅうす） 名誉もお金もいらないうという覚悟

年をとるにつれて生理的な要求のほうは次第におとなしくなっていくものですが、名誉欲や財欲については、逆に年をとるほどふくらんでいく人も多いようです。茶道を完成させた千宗易は、この「名利共に休す」から字をとって名前を「利休」としたといわれています。「茶禅一味」というように茶道と禅は深い関係にあります。利休は本格的に禅を学び、印可（悟りの証明書）を受けたほごでした。ひとつの道を究めるには、あるいは自分が受けた生を純粹にまっとうするには、名利を求めたがる雑念を切り捨てる覚悟も必要なのです。

戦国時代

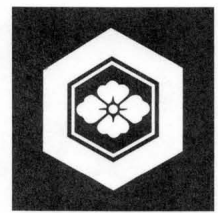
武将の家紋

井伊直政（1561〜1602）
細平井筒



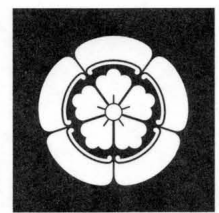
細平井筒

直江兼続（1560〜1620）
亀甲に四方花菱



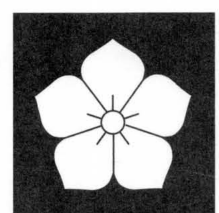
亀甲に四方花菱

織田信長（1534〜1582）
織田木瓜



織田木瓜

明智光秀（1528〜1582）
桔梗



桔梗

戦国時代から安土桃山時代にかけて、多大な影響を残した武将・織田信長。この「織田木瓜」だが、元々は尾張守護の斯波氏より拝領したものだといふ。

織田家の家臣だったが本能寺の変で信長に反旗を翻す。桔梗紋は、清和源氏頼光流・土岐一族の代表家紋である。女紋としても人氣が高い優美な家紋です。